

## DX Suite（クラウド版）利用約款 新旧対照表（2022年10月4日適用開始）

※ 下線部分は変更箇所を示しております。

変更箇所	変更後（2022年10月4日以降）	変更前（2022年10月3日以前）	備考
第1条第4項	4. 本約款において、本サービスにアップロードその他入力された画像データ等（各読取範囲についての確認・修正結果等のテキストを含み、 <u>帳票定義のためにアップロードされた画像データ等を除きます。</u> ）を「対象文書」、本サービスの成果として提供されるデータを「成果物」、【利用者】が人工知能の開発のために、本サービスにアップロードする以外の方法で【レイズ】に提供する画像データ等を「提供データ」といいます。	4. 本約款において、本サービスにアップロードその他入力された画像データ等（各読取範囲についての確認・修正結果等のテキストを含みます。）を「対象文書」、本サービスの成果として提供されるデータを「成果物」、【利用者】が人工知能の開発のために、本サービスにアップロードする以外の方法で【レイズ】に提供する画像データ等を「提供データ」といいます。	第5条第5項の新設に伴い、「対象文書」の定義に、帳票定義のためにアップロードされた画像データ等が含まれないことを規定させていただきました。
第5条第5項	5. 【レイズ】は、本サービスの利用状況に関するデータ（対象文書、成果物を除きます。）を次の各号に掲げる目的のために用いることがあります。利用状況に関するデータとは、例えば、ログイン日時などのアクセス情報、組織設定情報、利用している AI モデルの種類、帳票設定などの設定情報を含みます。 ① ユーザインターフェース及びユーザエクスペリエンスを改善するため ② 読取速度などのパフォーマンスを改善するため ③ 上記各号のほか、本サービスの提供・維持・向上・新サービスの開発のため ④ 各ユーザに最適なサポートをご提供するため ⑤ マーケティング活動、その他お客様に対する活用提案等の営業活動のため	(新設)	より一層ユーザ体験を向上させること等を目的としたデータの利活用について、活用されることのあるデータや利用目的についての規定を設けさせていただきました。

